

令和3年9月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 282(2021年9月)

■クラウドファンディングでの支援者募集

「【第10弾】歌舞伎や映画、フィルムが見つないだ文化を遺す。」を開始しました

公益財団法人松竹大谷図書館は、当館運営費及び経年劣化が進む【映画フィルム】の状態を調査し、保存状況を改善するための資金調達を目的としたクラウドファンディングプロジェクトを9月7日より「READYFOR」にて開始致しました。

今回のプロジェクトでは、ご支援により書庫内で保管する約90本の古い【映画フィルム】の劣化状態の調査を行い、フィルムの劣化を早めてしまう古いフィルム缶から新しい保存用のフィルム缶へ入れ替えを行うなど保存状況の改善を目指します。

現在当館は、35mmから8mmまでの様々な形態の【映画フィルム】約90本を書庫で保管しています。劇場で上演された歌舞伎の記録映像や、「歌舞伎座復興」「東劇オープン」といった劇場にまつわる記録映像、また、当館創設者の大谷竹次郎の記録映像や旧蔵フィルムも多く含まれています。しかし現在、これらのフィルムに、経年劣化によりフィルムのベースの素材が化学反応を起こし酢酸化してしまう「ビネガーシンドローム」と呼ばれる劣化現象が発生してしまいました。一度酢酸ガスが発生し始めると止める事は出来ず、劣化の進行を可能な限り遅らせる対策を取るしか方法がありません。この【映画フィルム】の保存状況の改善を目指し、いずれは当館にしか無い貴重なフィルムに関しては、補修やデジタル化という次のステップに進み、歌舞伎をはじめとする近代日本演劇、また日本を代表する映画の制作や興行を担ってきた松竹の歴史を紐解く手掛かりにしたいと考えています。



当館は厳しい財政難を解消するため、平成24年に専門図書館として初めてクラウドファンディングに取り組み、以来、毎年連続で実行しています。昨年まで9回のプロジェクトで皆さまから頂戴した支援金額は累計で2,657万円に達しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により収益が減少し厳しい状況が続いていますが、資料の保存状況の改善を目指して本年もクラウドファンディングを実行します。第10回目となるこのプロジェクトに、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

目次:

クラウドファンディングでの支援者募集「【第10弾】歌舞伎や映画、フィルムが見つないだ文化を遺す。」を開始しました	1-2
ミニ展示「山田洋次監督」展第七弾関連資料ご紹介『キネマの天地』資料	2
新着資料案内	2
新規登録資料案内	3
資料をご寄贈くださった方々	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
利用案内	4



状態調査を行い、フィルム缶の入れ替えを行う 映画フィルム

各支援金額に応じて、歌舞伎台本『桜姫東文章』と映画台本『夜叉ヶ池』の表紙デザインの当プロジェクト限定文庫本カバーや、所蔵する台本(歌舞伎・映画)のうち、約350タイトルの中から好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)にお名前を載せる権利、当館所蔵の組上燈籠絵『組上付属おはやし』『組上燈籠付属絵』のデザインのオリジナル文庫本カバー、松竹大谷図書館ガイダンス(歌舞伎記録映像上映付き)へのご招待など、趣向を凝らしたリターンを設定しています。

是非、プロジェクトページをご覧ください、周囲の方にもご紹介いただけますようお願いいたします。また趣旨にご賛同・ご支援いただければ大変有難く存じます。



左 映画台本「文庫本カバー」
右 歌舞伎台本「文庫本カバー」
※大きい方は本物の台本文庫本カバーは見本

プロジェクト名

【第10弾】歌舞伎や映画、フィルムが見つない文化を遺す。

募集期間：令和3年9月7日(火)～10月27日(水)【50日間】

目標金額：250万円(図書館の令和3年度運営費：187万円/

【映画フィルム】の保存状況の改善費用：63万円)

募集金額：一口3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円

募集期間中に250万円以上集まった場合のみ成立します

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトへの支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、税制の優遇措置は受けられません。

▼くわしくは下記URLまたはQRコードよりプロジェクトページをご覧ください

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan10>

公式Facebookでも情報発信しております

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



■ミニ展示「山田洋次監督」展第七弾関連資料ご紹介『キネマの天地』資料

当館閲覧室では現在、ミニ展示「山田洋次監督」展第七弾を展示中です。前日までの予約制でご利用頂いているため、展示の観覧につきましてもご不便をおかけしております。そこで今回は展示の関連資料として、『キネマの天地』の資料をご紹介します。この作品は、松竹大船撮影所50周年記念として製作された映画で、大船への移転直前の昭和8-9年頃の松竹蒲田撮影所が舞台となっており、当時、映画製作に情熱を傾けた撮影所の人たちの姿が描かれています。



『キネマの天地』台本 [上]製作段階の各種台本
[下左より]シナリオ本、完成台本、シノプシス

左の写真は『キネマの天地』の台本とシナリオ本です。映画は製作の各過程に応じて台本が作られます。最初に準備稿が作られ、続いて改訂稿、決定稿、撮影稿など改訂が反映され、映画によっては何種類もの台本が作られます。当館はこの製作過程の台本も可能な限り収集・保存しております。どの段階でシナリオが改訂されたのか、映画製作の流れを知ることの出来る貴重な資料です。そして映画の完成後、松竹では戦前から最終的にフィルムから採録した「完成台本」が作られてきました。製作過程の台本では、例えば撮影時に台詞の変更などがあつたら、その台本と実際に完成した映画とで台詞が異なることとなりますが、完成台本はその名の通り映画の完成後に作られるので、映画の正確な内容を文字情報として知ることが可能です。

また、製作の過程を知ることのできる資料として、他に映画のスクラップブックがあります。

右の写真は『キネマの天地』のスクラップブックです。製作発表から、ロケを伝える記事、監督や出演者のインタビュー、映画評、興行情報などの新聞や雑誌の記事の切り抜きが貼られており、映画を取り巻く当時の状況を知ることができます。基本的に媒体の発行順に記事が貼られているので、その作品の誕生から公開後の反響まで、ほぼ時系列に沿って追うことができます。スクラップブックは、そのページを捲ることで公開当時の熱狂や興奮を体感するような気持ちになれる資料なのです。



『キネマの天地』スクラップブック

ちなみに、現在公開中の山田洋次監督作『キネマの神様』は、松竹が大正9年に蒲田撮影所を開所し映画製作をはじめから100周年を迎えた事を記念して製作された映画で、こちらは山田監督が若き日を過ごした戦後の松竹大船撮影所がモデルとなっており、『キネマの天地』と同様、松竹の伝統ある撮影所が映画の重要な要素となっています。

是非この機会に、『キネマの天地』もDVDなどでの視聴をお勧めいたします。

■「山田洋次監督」展第七弾■

展示期間：2021年7/30(金)～10/27(水)/展示場所：松竹大谷図書館 閲覧室
展示をご覧になる場合も、前日までにご予約の上ご来館下さい。

※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のHP、Facebookの投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内致しますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。

電話：03-5550-1694 (平日：10時～16時※短縮中)

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系8月演劇公演資料		○… 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『加賀見山再岩藤 岩藤怪異篇』	○	○		
	『真景累ヶ淵 豊志賀の死』	○	○		
	『仇ゆめ』	○	○	○	○
	『源平布引滝 義賢最期』	○	○		
	『伊達競曲輪翰當』	○	○		
新橋演舞場	『三社祭』	○	○		
	OSK日本歌劇団『レビュー夏のおどり』	○	○	○	○
南座	『喜劇 老後の資金がありません』	○	○	○	○
	『鶴亀』			○	
松竹座	『日本振袖始』	○			
	『関西ジャニーズJr. Summer Special 2021』				○

◆他社演劇公演資料 (6-8月) (順不同) 『ゼロの無限音階～infinity scale～』博品館劇場プログラム/『SUPER “D-☆” CRUISING SHOW 2021 DIAMOND☆DOGS Promise You』博品館劇場プログラム/『逃げるは恥だが役に立つ』シアタークリエプログラム/市川弘太郎歌舞伎自主公演『不易流行 遅ればせながら、市川弘太郎の会』東京建物 Brillia HALLプログラム/尾上松也歌舞伎自主公演『挑むVol.10～完～』本多劇場プログラム/『中村種之助踊りの会』国立劇場小劇場プログラム/『第196回邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム

◆映画資料 (公開順) 『鳩の撃退法』プレス、ポスター、プログラム、台本/『テラー 人生の仕立て屋』プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『子供はわかってあげない』『ザ・スーサイド・スクワッド “極” 悪党、集結』『Summer of 85』『スペース・プレイヤーズ』『ホロコーストの罪人』『モンタナの日撃者』『アナザラウンド』『エイブのキッチンストーリー』『僕のヒーローア

カデミア THE MOVIE ワールド ヒーローズ ミッション』『ワイルド・スピード ジェットブレイク』『妖怪大戦争 ガーディアンズ』『すべてが変わった日』『かぐや様は告らせたい 天才たちの恋愛頭脳戦 ファイナル』『モロッコ、彼女たちの朝』『アーヤと魔女』『元カレとツイラクだけは絶対に避けたい件』『沈黙のレジスタンス ユダヤ孤児を救った芸術家』『オールド』

◆演劇雑誌 (順不同) 『AAC』Vol.109/『Confetti』2021年9月/『DRAMAかながわ』83号/『the座』109号/『あぜくら』2021年8月号/『つどい』54号/『ほうおう』2021年10月号/『テアトロ』2021年9月号/『ラ・アルプ』2021年9月号/『演劇界』2021年10月号/『喝采』2021年11月/『御園座演劇図書館Newsletter』Vol.41/『国立演芸場公演ガイド』令和3年9月号/『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』15号/『大向う』令和3年8月号,9月号/『日本芸術文化振興会ニュース』2021年9月号/『日本照明家協会誌』2021年8月号/『日本舞踊』73巻9月号/『悲劇喜劇』2021年9月号/『邦楽の友』令和3年7月-8月合併号

◆映画雑誌 (順不同) 『FLIX』2021年10月号/『SCREEN』2021年10月号/『TVガイド』2021年8/6号,8/13号,8/20号,8/27号/『おとなのデジタルTVナビ』2021年10月号/『エキブ・ド・シネマ』No.232, No.233/『キネマ旬報』2021年9月上旬号,9月下旬特別号,増刊キネマ旬報NEXT Vol.38/『シナリオ』2021年10月号/『シナリオ教室』2021年9月号/『シネビ・エイジ』No.691/『ドラマ』2021年9月号/『ピクチャーアップ』2021年10月号/『ムービータイムス』7043号,7045号-7049号,7051号,7053号,7055号-7057号,7059号-7062号/『映画テレビ技術』2021年9月号/『映画ビジネス』1229号-1239号,1241号,1242号,1244号,1245号/『映画芸術』2021年夏号/『映画時報』2021年7月号,8月号/『映画秘宝』2021年10月号/『日経エンタテインメント!』2021年9月号/『文化通信ジャーナル』2020年1月号,4月号,5月号,10月号-12月号,2021年1月号-7月号,9月号/『芸術学研究』31号

新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『故中村梅之助のおもかげ』『国立映画アーカイブ』『ミュージカル映画の世界 ハリウッド芸術の頂点を彩ったアメリカン・グラフィックの粋』『渋谷ミニシアター手帖2019』『海を渡った興行師・播磨勝太郎 20世紀初頭のアジア映画市場におけるシンガポールと日本』『津川雅彦・朝丘雪路』『志村喬記念館』『中央区コミュニティバス江戸バス マップ 舞台散策マップ付 映画・ドラマ・小説の舞台編』『池野成 自筆譜コレクション』『川村花菱と軍人たちの「不如帰」』『恵比寿・エコー劇場周辺便利MAP』『うす紫の記 文美の思い出』『宝塚歌劇主題歌集178「白夜わが愛」白夜わが愛・さまよひ人の詩』『宝塚歌劇主題歌集166「チームズの霧に別れを」セ・マニフィック』『宝塚歌劇主題歌集194「彷徨のレクイエム」』『Hareza池袋GUIDEBOOK』『竹内志朗 手書き文字・舞台道具帳』『立命館大学アート・リサーチセンター20年のあゆ

み』『映像化された吉村作品の世界 吉村昭記念文学館開館記念企画展』『銀座復興』『伝統芸能』のいま 戦後歌舞伎・落語興行の計量分析から』『歌舞伎の上演傾向分析「またかの関」についての一考察』『伝統芸能興行データ集計・その一里塚(9)「仮名手本忠臣蔵」の上演パターン』『歌舞伎の「大向こう」の時代変遷 過去の舞台映像から当時の劇場の空気を感じ取る試み』『実演芸術の上演データ集計 伝統芸能編』『伝統芸能興行データ集計・その一里塚(3)歌舞伎の上演演目集計』『統計的手法を用いた歌舞伎狂言における役の格付け』『歌舞伎の上演傾向分析「4代目歌舞伎座」の時代における歌舞伎三大狂言の上演について』『伝統芸能興行データ集計・その一里塚(14)国立劇場作成データを用いた「忠臣蔵」上演回数集計』

資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2021年6月-7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、国立劇場、銀座 博品館劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、劇団民藝、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、古井戸秀夫、文学座、株式会社マガジンハウス、有限会社合同通信社、演劇出版社、愛知芸術文化センター、日本劇場技術者連盟、矢野圭吾、日本映画テレビプロデューサー協会、劇団銅鑼、キネマ旬報社、新国立劇場情報センター、博多座、一般社団法人日本民間放送連盟、公益社団法人日本照明家協会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、樽松大剛、岩波ホール、佐勉、日本アカデミー賞協会、丸善出版株式会社、御園座演劇図書館、中央区立郷土天文館(タイムドーム明石)、有限会社 春風社、(株)近代映画社、文京ふるさと歴史館、東宝株式会社映像事業部、おとなのデジタルTVナビ編集部、シアタークリエ、一般社団法人伝統歌舞伎保存会、ERMITTE、邦楽の友社、銀座百店会、早稲田大学演劇博物館、協同組合 日本映画撮影監督協会、人形劇団ブーク、無声映画鑑賞会、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター、こまつ座、若林さだ吉、黒澤明研究会会誌、国立映画アーカイブ、明治座、一般財団法人映画倫理機構、公益財団法人日本近代文学館、丹野達弥、帝国劇場、博物館明治村、公益社団法人日本演劇興行協会

どうもありがとうございました

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和3[2021]年8月にご支援いただきました

法人・団体（5音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

今後、開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》

- 開館時間 10:00～16:00（短縮しております）
- ご来館前日（※休館日を除く）までに、お電話でのご予約をお願い致します。
松竹大谷図書館 03（5550）1694（平日10時～16時）

《ご予約について》

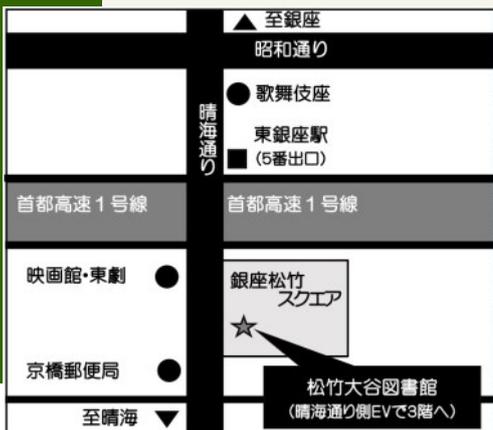
- ★10時から16時まで、1時間ごとに最大2時間までご予約頂けます。
- ★ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★一日のご利用冊数は、18冊までお願い致します。
- ★一度利用された資料は同日にはご利用頂けません。先に閲覧予約が入っている場合、使用をお断りする場合があります。
- ★展示をご覧になる場合も、ご予約の上ご来館下さい。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/210105.html>

編集後記

第10弾のクラウドファンディングを開始しました！10年という歳月に、スタッフも例年以上に感慨深くっております。本年のプロジェクトも何卒よろしくお願い申し上げます。(A)



●利用案内●[開館時間]平日10:00～16:00(短縮しております)／[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します／[閲覧]館内閲覧のみ

[入館料]無料／[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります

●資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

●交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分／東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>